



令和5年度 学校便り

与論中だより

令和6年2月1日 与論町立与論中学校

校訓
誠

自 創 協
主 造 調
体 力 気 力

春に備えて

校長 徳重 正宏



2月に入りました。皆さんは、「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」という言葉を耳にしたことがあると思います。これは、1月から3月までは行事が多く、あっという間に過ぎてしまうことを表現したものです。1月の時間の流れを振り返ってみると、「1月は行く」という言葉が本当に当てはまります。また、2月は29日しかなく祝日もあるので、気づいたら2月が終わり、すぐに3月に入ってしまいそうです。2月を迎え普段の生活を見つめ直し、気を引き締め、一日一日を大切に過ごすことが大切だと思います。

学校では2月になると3年生は入試本番、校内でも2年生の立志式、期末のテストなどがあります。そして、3月は公立高校一般入試、卒業式などと続きます。そう考えると今年度も残すところ2ヶ月となり、年度の締めくくりをする時期にもなっています。今年度を振り返って、自分が成長したこと、頑張ってきたことなどを確認し、もう少し頑張らなくてはいけないことを今からしっかり身に付けておく必要があります。

3年生は卒業後の進路先への進学に、1、2年生は次の学年への進級にそれぞれ備えましょう。そのためには、目標や希望、夢をもってそれに向けて、工夫しながら継続して取り組むことが大切です。無理をせず焦らずに少しずつでも確実に取り組んでいきましょう。不都合なことややりにくいことがあれば、そのままにせず、自分で考えたり、他の人に相談したりして、解決に繋げましょう。やり方は一つではありません。広い視野で物事を柔軟に考えることが大切です。やり方を模索しながらやりやすいように効果が出るように取り組んでいきましょう。何か取り組むときに特に大切にしてほしいことは、人と比べず、まずは自分自身のことを理解することです。

3年生はいよいよ明日2月2日は与論高校入試です。健康管理には十分気を付けて最後まで精一杯取り組み、持てる力を発揮されることを期待しています。

再確認!! 当たり前のことをしっかり継続!

慌たしいときこそ、当たり前のことをしっかりとやり遂げることが大切です。



当たり前のこととは、例えば、あいさつをする。時間を守る。礼を正す。健康に気を付け学校に通う。等が挙げられます。このようなことをコツコツと積み上げることは、大切なことで、この1月、箱根駅伝で優勝した青山学院大学の原監督は、こんな話をしていました。

「これまで勝つために、高校時代に力のある学生をスカウトしていました。しかし、なかなか勝ちきれず、悩みました。ある時、発想をかえ、気持ちのある生徒、毎日の生活をしっかりとできる生徒をスカウトしました。そうすると少しずつ勝てるようになりました。これまでとどこが違うかと考えると、当たり前のことを当たり前にかけているということです。学生は寮生活ですが、その在室、不在室をプレートの裏表で表示します。それが徹底されていますね。」と述べていました。こんな当たり前のことを自分自身で忘れず徹底することが、様々なことにも繋がるとの意ではないかと考えることでした。

「当たり前」の本質を改めて考え、自分のものとして自然体で実践したいものです。

※ 転出やその可能性がある場合は、学校（担任等）へお知らせください。

学力向上へ向けて

1月16日(火)、17日(水)に1・2年生は、鹿児島学習定着度調査がありました。与論中学校は、概ね県平均通過率を超えることができました。以下2月1日現在の結果です。

昨年・今年度の本校鹿児島学習定着度調査の各教科の平均通過率と県との比較(今年度結果:2/1現在)

教科年	国1	社1	数1	理1	英1	平均	国2	社2	数2	理2	英2	平均
昨年度 通過率	70.8	77.1	80.0	60.4	78.6	73.4	69.8	60.5	76.3	63.6	72.0	68.4
県比較	100.6	112.7	112.8	95.6	103.8	105.1	98.3	109.6	105.2	101.2	106.2	104.1
今年度 通過率	79.8	60.7	73.8	77.6	84.7	75.3	67.5	69.2	80.8	75.7	73.2	73.3
県比較	104.7	111.6	99.3	117.0	110.0	108.2	102.9	110.9	117.6	113.3	102.7	109.4

今年度も、研究授業等を通して授業改善を進めながら、計画的に単元テストや各教科の小テスト、演習問題等に取り組んできました。調査結果にもこだわり、5教科平均は、1・2学年とも前年度の結果を昨年から引き続き上回ることができました。生徒・職員の日頃の努力を讃えたいと思います。

次年度へ向けて、各教科での分析を行い、学校全体でも共通理解を図りながら、学力向上に努めて参ります。御家庭でも家庭学習への取組や声掛け等御協力を今後ともよろしくお願いします。

与論を深く知る

1月13日(土)に、2年生は、海洋教育ミニレポート発表会がありました。与論について調べたことを発表しました。代表者が1月30日(火)の海洋教育フェアで発表しました。堂々と素晴らしい発表ができました。1年生は、ゆんぬ(与論)学で、地域サポーターの方々の名刺づくりをしています。熱心に地域サポーターの方々へインタビューを行い、名刺づくりの情報を集めることができました。



【1年生のインタビュー】

入学楽しみに待っています!!

【2年生の発表】

1月19日(金)に、入学説明会がありました。与論町内の小学校から6年生が参加しました。中学1年生は、各小学校の先輩として、出身小学校の6年生を中心に中学校生活等の説明を行いました。



受賞等

◆ 入賞 おめでとう ◆

●第37回大島地区中学校弁論・ショートスピーチ大会

ショートスピーチの部 優良賞 3年 和宇慶真子 弁論の部 優良賞 2年 阿多竜平

●第1回全国中学生秋季通信弓道大会 1年女子団体 優勝(清水悠杏・佐々木真奈・酒井芽音)

1年女子個人 2位 清水悠杏

3月の行事予定

月	日	曜	行 事	月	日	曜	行 事
3	5	火	公立高校一般入試(～6日)	3	12	火	第76回卒業式
3	8	金	卒業式予行、クラスマッチ	3	13	水	公立高校合格者発表
3	8	金	P T A理事・評議員会	3	23	土	中学校P T A送別会
3	11	月	1・2年卒業式会場準備	3	25	月	大掃除、修了式、離任式

※ 先月、人生、やるか、やらないか…。ということを書きました。今回は、「やる」という気持ちを強く持つために何が必要か考えてみたいと思います。考えたり、調べたりした結果「覚悟」と「目標」が必要なのではないかと思っています。「覚悟」とは、人から言われて決めるものではなく、自分で決めるということです。先生や親から「しっかり(自分で覚悟をもって)勉強なさい」と人から言われて決めるのではなく、自分自身で「覚悟」をしなければ…と思うことです。「勉強は、自分自身のために必要だ、これはやるべきことだ」と自分自身で覚悟をもつことです。オリンピック金メダリスト、スピードスケートの小平奈緒さんの話や柔道の井上康生さん(全日本柔道男子代表監督)の講話本にそんなことが書いてありました。

生徒の皆さんへ「覚悟を決めろ」…ではなく「覚悟をもとう」と言いたいと思います。

「覚悟」もてますか?

※ 転出やその可能性がある場合は、学校(担任等)へお知らせください。